教科名	国語	科目	論理国語（特進クラス、理系）	単位	３単位

１．教科書・テキスト

教科書：『精選論理国語』（東京書籍）〔高２から継続使用〕

副教材：『2027 共通テスト対策問題集Ｉシリーズ　４国語　現代文』（河合出版）

『2027 共通テスト直前対策問題集Ｊシリーズ　５国語』（河合出版）

『改訂版現代文ｷｰﾜｰﾄﾞ読解』（Ｚ会出版）〔高２から継続使用〕

『入試漢字マスター1800＋四訂版』（いいずな書店）〔高２から継続使用〕

『新入試評論文読解のキーワード 300』（明治書院）〔高２から継続使用〕

※他資料あり（補助ﾌﾟﾘﾝﾄ、私大・国公立大学入試過去問、ｾﾝﾀｰ試験・共通ﾃｽﾄ過去問・類題、記述問題など）

２．授業の目標および内容

『2027 共通テスト対策問題集』により、現代文読解の基礎・基本を確認し、演習を重ね実戦的な読解力や解答を導く際の着眼点の持てる力を養成します。『2027 共通テスト直前対策問題集』では、引き続き大学入学共通テストへの実戦力をつけ、出題傾向が様々に考えられる共通テストに対応できるようにします。また、各文章の底流となるテーマについて、『改訂版現代文キーワード読解』を使い、テーマの概要やキーワードについて理解し、読解の助けとします。同時に『入試漢字マスター1800＋四訂版』による小テストを実施し、漢字・語彙力を高めます。

他大学を目指す生徒が、大学入学共通テストにおいて 80%以上の得点を目指し、国公立大学二次試験等の記述・論述設問への対応力もつけられるよう演習をしていきます。

なお、特進の論理国語では、論理的文章、文学的文章、実用的文章を扱い、大学入試への読解を通じて、今後必要な〈思考力〉〈判断力〉〈表現力〉を養成することを指導の方針とします。

３．試験について

	１学期		２学期	
定期試験	一次　５月	二次　７月	一次　10 月	二次　12 月
学力試験	第１回　６月		第２回　９月	

※内容・評価等について

① 定期試験：授業範囲の文章での作題と、授業で培った力を初見の文章で生かせるか試す出題もします。大学入学共通テスト、一般選抜文系大学レベルで、100 点満点の試験を行います。

② 学力試験：基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルの出題です。国語常識、論理的な文章、文学的な文章等をバランス良く出題し、古典分野と合わせて 100 点満点で出題します。全てのコース・クラスで同一問題です。

４．課題・補習について

生徒の状況に応じ実施します。漢字語彙等の小テストに不合格の場合には、再テストまたは特別な課題があります。進路実現への目的意識から、有意義な取り組みとなるように指導します。

５．評価

定期試験を中心に、課題・小テストなどを参考に算出した平常点を加味し、評価します。

授業計画

学期	教　　材	学　習　内　容	備　　考
1	○『2027 共通テスト対策問題集』 ○『改訂版現代文ｷｰﾜｰﾄﾞ読解』 ○『入試漢字マスター1800＋四訂版』 ○『新入試評論文読解のキーワード300』	○論理的な文章を読解する上で必要である、換言・類比表現、具体・抽象の構造、対比、同値と対立など基礎的・基本的な技能の定着を確認します。 ○上記の基礎的・基本的な技能に加え、意味段落の確認、本文末尾と冒頭の関係、筆者が価値判断を示す表現などにも留意し、内容理解を深めます。 ○人物像や挿入説明、場面転換と心情変化など、小説読解に必要な基礎的な技能を磨きます。 ○小説における理論として、場面と内面の同値、人物と人物の対比に注目して本文を読み進めることで、小説を客観的に読む能力を磨きます。 ○問題演習と設問解説を通じて、大学入試の基礎力を身につけます。 ○記述・論述対策が、文章全体の読解の直接的な基礎で、客観的読解問題の解答力であることを踏まえ、その力を培うべく要約作業を取り入れます。 ○論理的文章、文学的文章等を読解する際に必要な漢字語彙力、及び各テーマの知識を、小テスト等を通じて獲得します。	＊『入試漢字マスター1800＋四訂版』『現代文ｷｰﾜｰﾄﾞ読解』で週１～２回漢字語彙小ﾃｽﾄを実施する。その上で定着を図るべく、同範囲の漢字語彙について考査でも出題する。 ＊状況に応じて教科書教材を用いる可能性もある。 ＊『新入試評論文読解のキーワード300』は辞書として語彙力のブラッシュアップに用います。 夏期課題は、利用している問題集の問題を指定し、演習量が確保できるようにする。
2	○『2027 共通テスト直前対策問題集』 ○国公立・私立大学の過去の入試問題（プリント） ○『改訂版現代文ｷｰﾜｰﾄﾞ読解』 ○『入試漢字マスター1800＋四訂版』 ○『新入試評論文読解のキーワード300』	○１学期の基礎力完成を受けて、実践力を培う問題演習を、共通テストと私大・国公立二次の両方に対して行います。 ○状況によっては、論理的文章、文学的文章等を読解する際に必要な漢字語彙力、及び各テーマの知識の抜け・漏れ確認と征服を、小テスト等を通じて獲得します。 ○共通テストに向けて、実用的な文章や複数テスクトの問題などを生徒の実態に応じて取り入れ、複数テクストをどう読んでいくかについて復習しつつ、問題演習を通じて実戦力を身につけます。 ○私大と国公立二次の記述・論述の対策を意識した問題演習も入れ、文章全体の読解を継続し血肉となる実践力をつけます。	＊生徒の状況を見て漢字・語彙小ﾃｽﾄを実施する。その上で定着を図るべく、同範囲の漢字語彙について考査でも出題する。